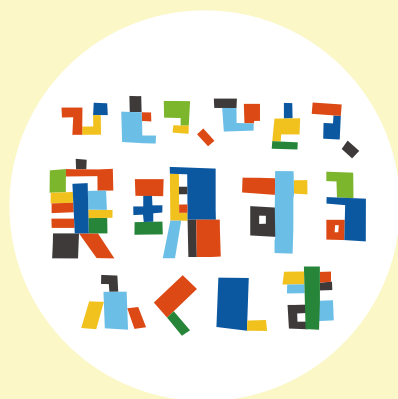


エ フ ギ ャ ッ プ

F G A P 導入の手引き



お問い合わせ先 GAP実践のための支援制度の紹介や取り組みにあたってのアドバイスを行っています。

福島県農林水産部 環境保全農業課 電話 024-521-7342 FAX 024-521-7938

福島県農林水産部 林業振興課 電話 024-521-7432 FAX 024-521-7908

県北農林事務所 農業振興普及部
電話 024-521-2609 FAX 024-521-2851

県北農林事務所 伊達農業普及所
電話 024-575-3181 FAX 024-575-3064

県北農林事務所 安達農業普及所
電話 0243-22-1127 FAX 0243-22-5839

県中農林事務所 農業振興普及部
電話 024-935-1321 FAX 024-935-7030

県中農林事務所 田村農業普及所
電話 0247-62-3113 FAX 0247-62-6069

県中農林事務所 須賀川農業普及所
電話 0248-75-2181 FAX 0248-72-8331

県南農林事務所 農業振興普及部
電話 0248-23-1563 FAX 0248-23-1559

会津農林事務所 農業振興普及部
電話 0242-29-5307 FAX 0242-29-5314

会津農林事務所 喜多方農業普及所
電話 0241-24-5743 FAX 0241-24-5746

会津農林事務所 会津坂下農業普及所
電話 0242-83-2113 FAX 0242-82-3951

南会津農林事務所 農業振興普及部
電話 0241-62-5264 FAX 0241-62-5256

相双農林事務所 農業振興普及部
電話 0244-26-1151 FAX 0244-26-1169

相双農林事務所 双葉農業普及所
電話 0240-23-6473 FAX 0240-22-2560

いわき農林事務所 農業振興普及部
電話 0246-24-6162 FAX 0246-24-6196

県北農林事務所 森林林業部 林業課
電話 024-521-2632 FAX 024-521-2851

県中農林事務所 森林林業部 林業課
電話 024-935-1367 FAX 024-935-1389

県南農林事務所 森林林業部 林業課
電話 0247-33-2123 FAX 0247-33-6949

会津農林事務所 森林林業部 林業課
電話 0241-24-5734 FAX 0241-24-5748

南会津農林事務所 森林林業部 林業課
電話 0241-62-5375 FAX 0241-62-5387

相双農林事務所 森林林業部 林業課
電話 0244-26-4304 FAX 0244-26-1216

相双農林事務所 富岡林業指導所
電話 0240-23-6084 FAX 0240-25-8553

いわき農林事務所 森林林業部 林業課
電話 0246-24-6192 FAX 0246-24-6179



いつでもどこでも 県内GAPに関する最新情報が入手出来る



ふくしま。GAPチャレンジ
ホームページURL

<https://gap-fukushima.jp>



右記の二次元バーコードから
サイトへアクセスが可能



令和6年3月版



ふくしま。GAPチャレンジ

ふくしまの“うまい”を届けたい。安全と品質の太鼓判！

はじめに

福島県では、安全性が客観的に担保された県産農産物を、安定的に消費者に届けるため、認証GAPの取得を推進しています。生産者の皆さんがGAPに取り組むことにより、次のような効果が期待されます。

- 農作業事故の防止
- 食品事故（農薬の誤使用、異物混入など）の防止
- 経費の節減による経営改善 など

GAP認証農産物の生産を拡大するとともに、「GAP=安全・安心」というイメージを広めることで、県産農産物の魅力を、より多くの方々に実感していただきたいと考えています。



放射性物質対策

食品安全

環境保全

労働安全

人権保護

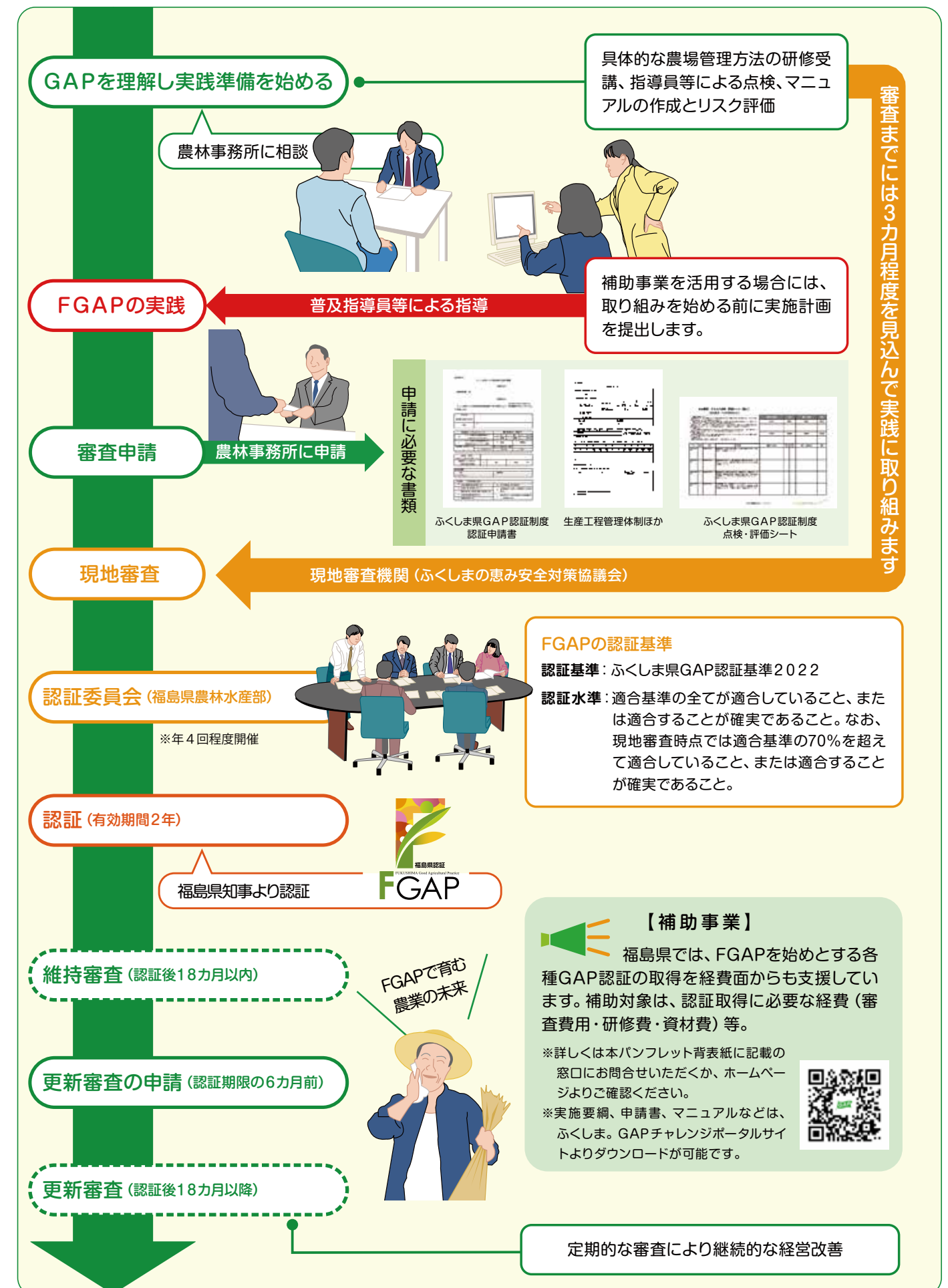
農業経営管理

ふくしま県GAP(FGAP)

平成29年に、放射性物質対策を含む福島県独自のGAPとして創設しました。令和4年12月からは、認証基準に人権保護などを盛り込み、国際水準GAPとして運用しています。



FGAP(ふくしま県GAP)認証を取得するまで



GAPに取り組んでみませんか？

GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理) は、は種・定植等から収穫・出荷までの過程について、適切なやり方を決めて実践し、適正に行われているかチェックし、改善していく、持続的な活動のことです。



GAPのメリット



会津永島オーガニックファーム (会津若松市)

永島 幸俊 さん

葉ねぎでFGAPを取得

有機農業(有機JAS認証取得)で、米やきゅうり、なす、ピーマン、いちごなども栽培



GAPを取得したきっかけは?

東京オリンピック・パラリンピックをきっかけにして、仲間と一緒にGAP認証取得を目指したことがきっかけ。GAPは環境に優しい農業を目指しているものなので、時代の流れとしても重要だと感じました。

JAS認証を受け、有機農業をやっているの、農産物を「作る」ところの安全性は説明ができます。作った後納品までの間はどうかと考えると、GAPでは、生産から出荷するまでのリスク管理ができるので、取引先にも安全・安心な生産工程であることが説明できることも取得の後押しとなりました。



GAPを取得してよかったこと

具体的なことだと、土壌分析をすることにより、適切な量の施肥が出来るようになり、肥料の量の削減になりました。整理整頓や清掃なども習慣化され、衛生面でのリスク管理が徹底してでき、安全意識がより高まりました。

これまで何気なくやっていたこと、惰性でやっていたことも、「GAPでは大丈夫だろうか」とやるべき作業の理由付けをすることができ、一緒に農作業をしている家族内の共通理解を持つことができたことはよかった。多くの従業員がいるような農場もGAPの導入を通じて、労働者の共通理解を持つことができ、作業の効率化を図ることができると思います。



生産者の皆さんへのメッセージ

社会の潮流に対して、農家ができることがたくさんあると思います。GAPは農業のSDGsを支えるツールなので、まずは福島オリジナルのFGAPから初めてみることをお勧めしたいです。

GAPとは?

ちょっとした対策で農場のリスクが軽減します!

今すぐGAPチェック

接触がなければチェック! ☐ 収穫物に動物が接触しない	焼却していなければチェック! ☐ 廃棄物を農場内で焼却していない	つけていたらチェック! ☐ シートベルトを使用している
加入していればチェック! ☐ 保険に加入している	記録していればチェック! ☐ 生産・出荷記録を保存している	☒ 全部にチェックはつきましたか?

農業を守る GAP



農業を守るGAP

農作業事故や農薬の誤使用、農産物への異物混入など、農業には様々なリスクがあります。それらのリスクから農業を守る、いわば守備力を上げる取組がGAPです。